

夕刊 磐城新聞

行日四月二十
刊日翌日祭臘日

批評 歌會詠草評 (二)

島田 忠 夫

○吊るし柿軒になまて居り丹念にひと日際子の切り貼りをする
野本多隆夫氏
幼い歌である。しかし素朴なのが何より佳し

○湯の岳のいたたき白く雲降りてけふから風は咲きそめにけり
渡邊 何鳴氏
けふと断つたところが、歌柄を小さくしてゐる。氏の俳句から見ると、これは技であらう

○土堤長く架け並べたる稲束に霜ま白にぞ陽に輝けり
赤井 謙男氏
「まにぞ」が強い。それで一首が落着かない。惜もの飛躍(或は鍛練)が要ると思ふ。「に」が重なるであらう

○「まにぞ」が強い。それで一首が落着かない。惜もの飛躍(或は鍛練)が要ると思ふ。「に」が重なるであらう

○「まにぞ」が強い。それで一首が落着かない。惜もの飛躍(或は鍛練)が要ると思ふ。「に」が重なるであらう

○「まにぞ」が強い。それで一首が落着かない。惜もの飛躍(或は鍛練)が要ると思ふ。「に」が重なるであらう

○「まにぞ」が強い。それで一首が落着かない。惜もの飛躍(或は鍛練)が要ると思ふ。「に」が重なるであらう

○「まにぞ」が強い。それで一首が落着かない。惜もの飛躍(或は鍛練)が要ると思ふ。「に」が重なるであらう

○「まにぞ」が強い。それで一首が落着かない。惜もの飛躍(或は鍛練)が要ると思ふ。「に」が重なるであらう

○「まにぞ」が強い。それで一首が落着かない。惜もの飛躍(或は鍛練)が要ると思ふ。「に」が重なるであらう

窓の雪

徳重 千歳

雲多きなり越後路に陽がけ被ひてとも幾日むすばれとけぬ冬空やかけ行く雲の足音かゆさより過る窓の外みぞれまじりの吹雪く日は戸を飾る六の花結びささのあてやかき冬の女神のたすきか

謁中田翁銅像

珠雲 小野務平

出爲郷閭致匪躬
入興皆道見英更
英姿颯爽人無朽
只合千秋仰事功

日一△塊大作曲家モーツアルト逝去(一、七、九一) △驅逐艦早敵頭沈没(昭和七、△米國禁酒法撤廢(同八、△平藤原義江獨唱會(同九)

講談
黄金魔及
高桑義生作
樋口悦也書

大盗 (一)
島原屋の扉



表店構へは三十間口、切らして叫んでゐる男、渡り舟がそれに接して二町四り者らしいいなせな町人だ。高々と石垣をめぐらし、勿論見知らぬ人間だから三方に漆をうがち、家従男と叱りつける。女はせて二百餘人、部屋敷一萬間、三十五戸前の七敷の中の金銀米穀の山、持船大船八十艘といふのだから大したものだ。百萬石の大名も勝へない。何を選がしたか? 「蛇です。南産の毒蛇、噛みで命を取る、恐ろしい狂毒をもつた奴でー」 「な、なんだと」 結所からバラバラと同役が出て来た。 「何とも早申がございませぬ」

「へえ」 「大蛇か?」 「へえ... たつた二尺ばかりの白蛇ですが...」 「仕方があるまい。此奴に取らせるほかはあはれまい。寛之助の眼はまつたく他所にそがれてゐる。そのいけぞんざいな口を直せ」 「はい」 小さなつばりした稿の袷に角帯前垂、柄が大きいにつた者が開け放しの袖門を、それが多少の愛嬌であらうに、ぱんやりながめて、それとそれと愛嬌であらうに、いきなりズンと牌。喉とした玲瓏球のやう腹にあてられた。ムムといふ美観に驚かす無邪気な笑ひを浮べた。 「お前は幸ひのせした時、来たのは、夜がらすのやうな一人脱獄した者がある。黒装束の男七人、そのまの男は實はお前が出した邸内に入つてしまつたのだ。」 「知らないよ」 「お前には、武家屋敷のやうなお長屋がある。或はしやれた茶室風の住居が庭樹の中に点在してゐる、それ家人雇人の分に應じて割りあてられてゐるものだ。今、その一つ、丁度まつ盛りの萩が自然の門を作つてゐる小座敷の縁側に箕

せん。只今此方を通りかゝる、どうしたものか、この竹筒ばうの口金が取れて、其奴が逃げ出しました。あつと思ふと、御門の隙から仰山な様子は何事かと驚き這ひ込んでしまひましたの、潜門の袖門を開く。息を「ちよつと、飛んでもねえ野郎だ」 「手前は何か? どうするつもりだ?」 「彼等は顔色を變へた。恐れ入りますが、お屋敷内を捜させて下さい。手前は香具師で、蛇つかひでございます。お手間は取らせません」 四人の門番は顔を見合せた。 「どうしたものだらう?」 「素で、は置かない。貴様、大變なものを逃がした

銅器竹製品籠盛花投入一式
生華用花器は
平町和久井屋
和久井屋
平町和久井屋
和久井屋
平町和久井屋
和久井屋

日本姓名會東北支部長 鷗沼孝昌

平町紺屋町三六

命運の代りてみの前名	命運の代りてみの前名
命運の代りてみの前名	命運の代りてみの前名
命運の代りてみの前名	命運の代りてみの前名

銀行、會社、商號、家號、會名、雅號
藝名、養子、養女、姓名、生兒名

耳鼻咽喉科専門

平町田町(電六九一)
病室完備 山内醫院
自炊ノ便アリ 山内醫院
流行ノ下駄ト草履ハ!
ドコヨリ安イ
南町三井ハキモノ店
電話一八一番

リスクはホシ

ホシ感冒錠

感胃の預防と治療に

ホシ風薬 定価 〇〇.〇〇
ホシアスピリン 定価 〇〇.〇〇
ホシ解熱薬 定価 〇〇.〇〇
ホシ鎮痛薬 定価 〇〇.〇〇
ホシ止咳薬 定価 〇〇.〇〇
ホシ解痰薬 定価 〇〇.〇〇
ホシ解熱鎮痛薬 定価 〇〇.〇〇
ホシ解熱鎮痛止咳薬 定価 〇〇.〇〇
ホシ解熱鎮痛止咳化痰薬 定価 〇〇.〇〇

社 會 式 株 業 製 星 田 反 五 ・ 京 東

